

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

幼小中つながる通信 vol.93

発行：令和4年3月10日 袋井市教育委員会

日本語で思いを伝える ～袋井国際交流協会～



【教育長賞に輝いた小学校6年生グエン ティ フェさん】

袋井国際交流協会

小学生が初参加

2月20日(日)法多山尊永寺にて「袋井日本語スピーチコンテスト」が行われました。このコンテストは袋井国際交流協会が主催し、今年で7回目を数えます。来日して10年以内、日本語を母語としていない方を対象としています。大人が主に参加するこのコンテストに、今年初めて小学生が参加しました。ベトナムから来日して8か月のグエン ティ フェさんは市内の小学校に通う6年生です。

来日したばかりの時に、日本語が分からなくて友達ができず、毎日涙を流した辛さや、それを支えてくれた両親、(※)初期支援教室の先生、学校の先生、周りの人々への感謝を、力強い日本語でスピーチしました。

本市の小中学校には、外国にルーツをもつ子どもたちが約350人おり、年々その人数は増えていきます。どの子どもたちも、自分の足で歩いていけることができるように、教育委員会と袋井国際交流協会が連携を図りながら、外国につながりをもつ子どもたちの生活と学びを支えています。

(※)言葉の習得や学校生活に馴染めるよう支援する教育会館2階にある日本語教室



〈袋井国際交流協会からのお知らせ〉

袋井国際交流協会では、制服、体操服、ランドセル、学用品などのリユースを推進し、来日した児童生徒が円滑に学校生活を過ごすことができるよう学用品バンクを設置し、必要な学用品の貸し出しをしています。趣旨に賛同いただき、御寄付いただける方は下記までご連絡ください。

【対象学用品】制服、体操服、通学カバン、絵の具セットなどの学用品

【問合わせ】袋井国際交流協会 TEL0538-43-8070 (月～金9時～17時、土9時～12時)

「幼小中つながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 幼小中一貫教育推進室 86-3122

